

令和7年度

人権・同和教育地区別懇談会

人権を考える集い

中村地区区長会 会長 佐伯 悦夫
中村地区公民館 館長 安田 敦

懇談会テーマ：自分は人権問題とどう向き合うか
～自分の心を見つめる～

地区	実施日	会場
三 秋	10月8日(水)	三秋集会所
中 村	10月14日(火)	中村本村集会所
森	10月16日(木)	森集会所
本 郡	10月23日(木)	本郡集会所

※開始時間はいずれも午後7時から。

地区	実施日	会場
尾 崎	10月27日(月)	伊予市総合保健福祉センター
三島町	10月31日(金)	三島集会所
市 場	11月12日(水)	市場集会所
稲 荷	11月14日(金)	稲荷西集会所



午後7時から開会

- 1 区長あいさつ
- 2 講師紹介、先生方の紹介
- 3 小・中学校での人権・同和教育の取組状況など
- 4 啓発ビデオ視聴（上映時間24分）
「今そこにいる人と、しっかり出会う～同和問題～」
- 5 講話
教育委員会社会教育課 社会教育指導員、
小・中学校教諭
- 6 ビデオの感想や意見、質問など

※懇談会は70分程度の予定です。

お問い合わせは
中村地区公民館（Tel 982-0121）へ。

【啓発ビデオ作品の紹介】

同和問題は、我が国固有の人権問題であり、日本の長い歴史の発展の中で形作られた身分差別によって、形成されたものです。生まれた場所や住んでいる場所だけで偏見をもたれ、差別されるという理不尽な差別といえます。

今、現代社会でも、インターネットを利用した晒しや身元調査、差別落書きなど、根深い偏見で様々な差別の問題が起こっています。この作品では、同和問題について理解を深めていただくと同時に、同和問題をモチーフに、人と人がしっかりと出会い、差別とどう向き合い合っていくかについてのヒントになる作品になるよう構成されています。ドラマ形式で、登場人物それぞれの立場に立って考え、視聴することができます。

登場人物一覧



臼井 ほのか
主人公で、介護施設の新入職員。佐藤主任を尊敬している。同和問題の現実に出会い、理不尽さに気づき始める。



佐藤 みなみ
介護施設の主任で、臼井の先輩。被差別部落に生まれる。臼井に、同和問題を正しく理解してほしいと願う。



木村 タツ子
介護施設入居の高齢者で、車いす等の介助が必要。直前のことを忘れてしまうので、会話がかみ合わないことがあるが、おしゃべり好き。同和地区に対する偏見あり。



あや
佐藤の小学校時代からの親友。同和地区外の生まれであるが、佐藤とは何でも言い合える仲。差別は、カッコ悪いと思っている。



宮崎先生
みなみとあやの高校時代の恩師で、人権教育には熱心に関わってきた。二人が尊敬する相談相手。

介護付き老人ホームの事務所で、先輩の介護福祉士の佐藤が、新人の臼井にこと細かく仕事を教えている。そんな時、入居者の木村からコールがある。木村は、歩行障害と手のこわばりがあり車椅子に乗っている。また、高齢のため物忘れがあり会話がかみ合わないこともある。佐藤は、木村のトイレ介助を手際よく行い、臼井もその技術とコミュニケーション力に感心して学んでいる。木村も佐藤をよく信頼している。雑談のなかで、木村は佐藤の出身を聞く。佐藤が、木村も知っているある地名を答えると、木村はなぜか態度を急変させ「もう来なくて良い」とそっぽを向いてしまう。

佐藤は、臼井に同和問題について尋ねる。臼井は、同和問題があまり話題にならない地域からやってきた。佐藤は、自分の実家が同和地区にあったことを告げる。表立った差別を受けたのは初めてで、ショックを受けたことも伝える。臼井は、帰宅して同和問題について調べてみる。

翌日、同じやりとりがあった。木村は、昨日のことを覚えていないようだった。木村が佐藤に再び出身を聞くと、佐藤は、実家ではなく現在住んでいる場所を教える。答えが違ったら、木村が昨日のような態度をとることはなかった。



木村とのやりとりについて佐藤に尋ねる臼井は、佐藤が木村から理不尽な「差別」をうけたことを感じ取る。私だったら許せないと言う臼井に、佐藤は、「許したわけではない」と言う。しかし、「しんどいときは逃げてよい」と恩師に教わったと告げる。その夜、佐藤は臼井を夕食に誘う。佐藤と親友、恩師、そして臼井が中華料理店に集っている。そこは、今回の理不尽なことにも佐藤がなぜ冷静でいられるのか臼井に教えてくれる特別な居場所だった。佐藤は言う「私には、いざとなったら駆け込める場所と支えてくれる人がいるから大丈夫」と。そこでは、差別に対する向き合い方が語られ、恩師の宮崎は、痛みを知ることは自分の資源にもなると語る。

介護施設で木村の車椅子を押す臼井の姿があった。同和問題は、自分自身の人との向き合い方とつながっていると実感した臼井、その表情が、差す光を浴びてキラキラと輝く。

